

岩木山の火山活動解説資料（令和 7 年 10 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1～図 6）

百沢東監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

9 日に青森県の協力により実施した上空からの観測では、湯ノ沢上流、赤沢上流、赤倉沢上流、鳥ノ海火口周辺に噴気や地表面の異常は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図 7）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 8、図 10）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

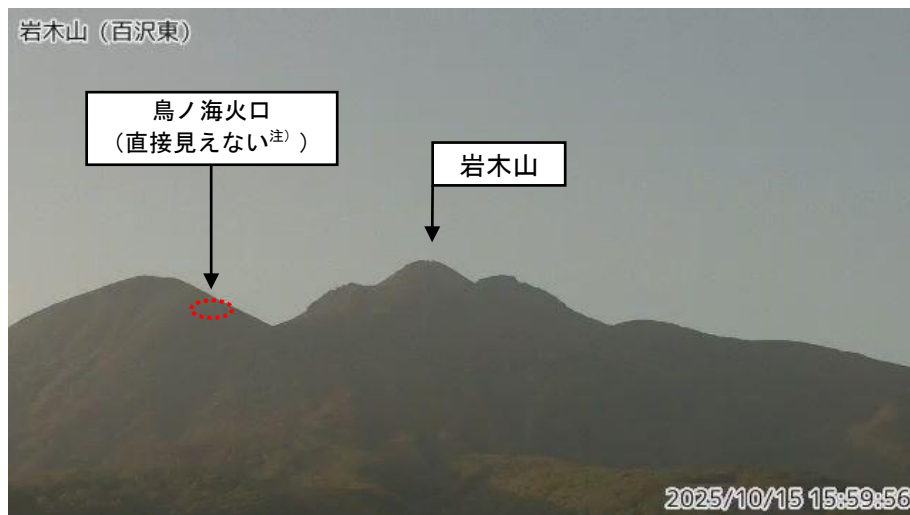


図 1 岩木山 山頂部の状況（10 月 15 日）

・ 百沢東監視カメラ（山頂の南東約 4 km）の映像です。

注）鳥ノ海火口から噴気が出た場合、高さ 50m 以上のときに百沢東監視カメラで観測されます。監視カメラからは直接見えませんが、赤破線が鳥ノ海火口の位置を示します。

噴気は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和 7 年 11 月分）は令和 7 年 12 月 8 日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、弘前大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

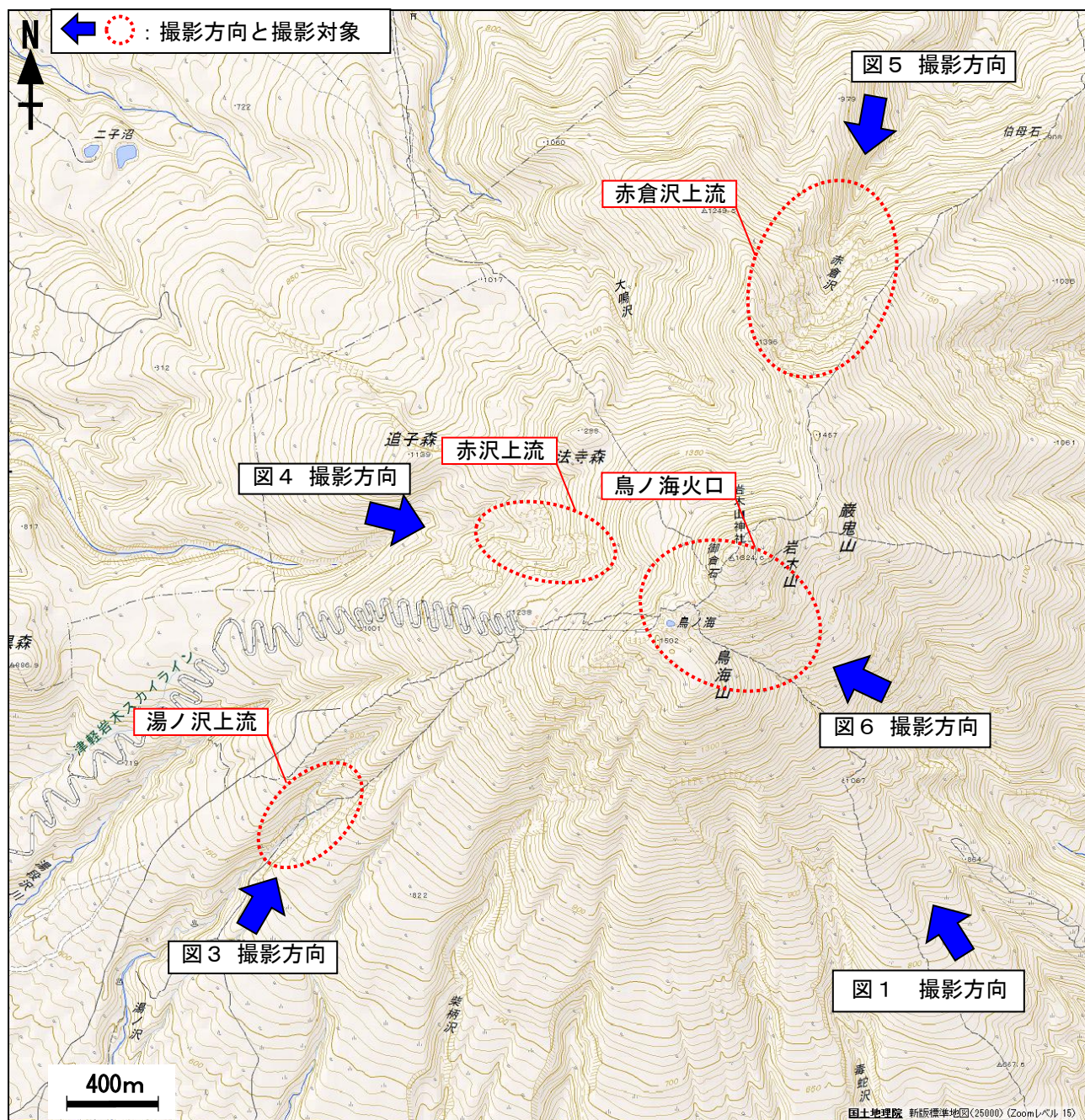


図2 岩木山 写真及び地表面温度分布の撮影方向及び撮影対象

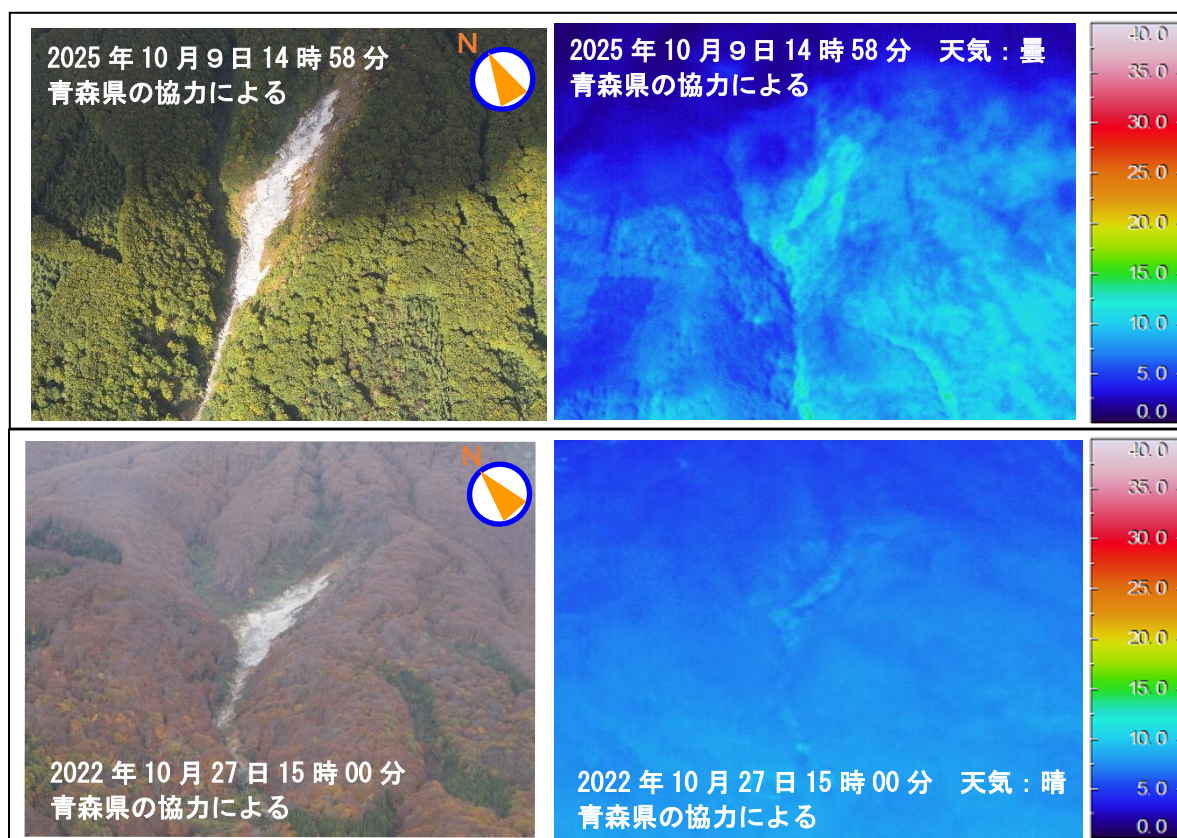


図3 岩木山 上空から撮影した湯ノ沢上流の状況と地表面温度分布

・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

過去の観測（2022 年 10 月 27 日）と同様、明瞭な地熱域は認められませんでした。

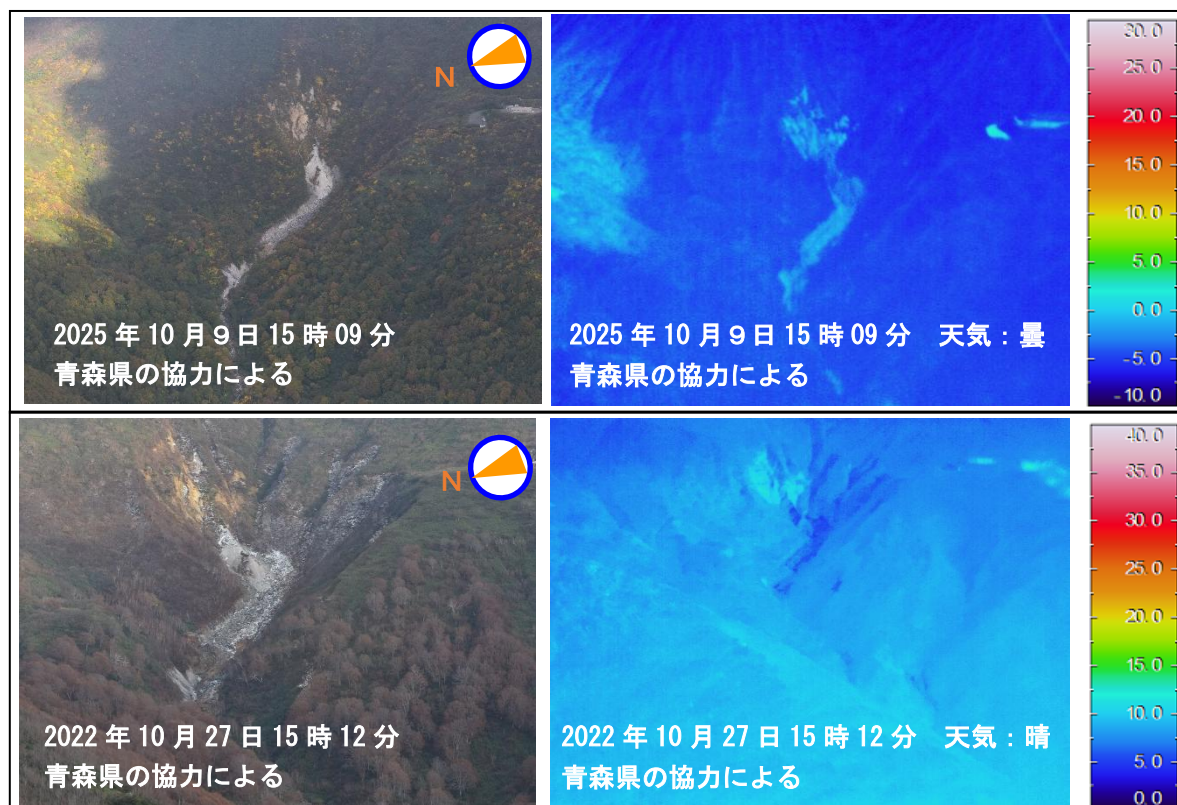


図4 岩木山 上空から撮影した赤沢上流の状況と地表面温度分布

・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

過去の観測（2022 年 10 月 27 日）と同様、明瞭な地熱域は認められませんでした。



図5 岩木山 上空から撮影した赤倉沢上流の状況と地表面温度分布

・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

過去の観測（2022年10月27日）と同様、明瞭な地熱域は認められませんでした。

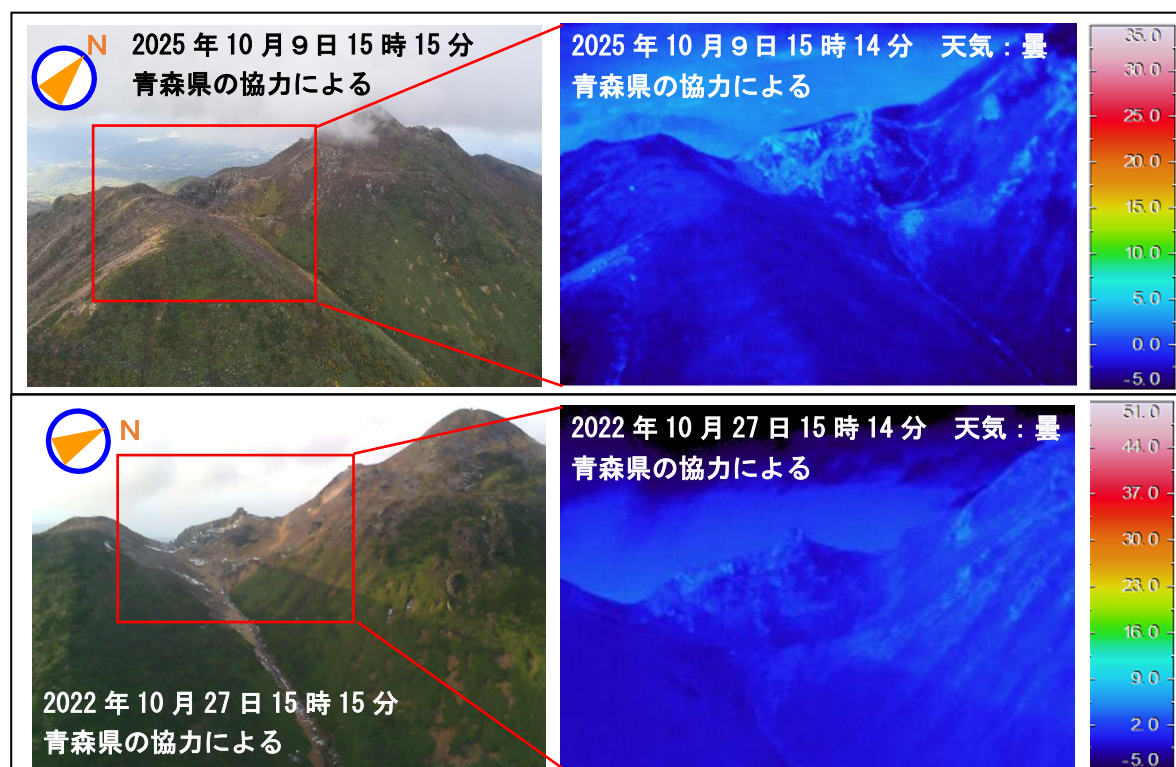


図6 岩木山 上空から撮影した鳥ノ海火口周辺の状況と地表面温度分布

・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

過去の観測（2022年10月27日）と同様、明瞭な地熱域は認められませんでした。

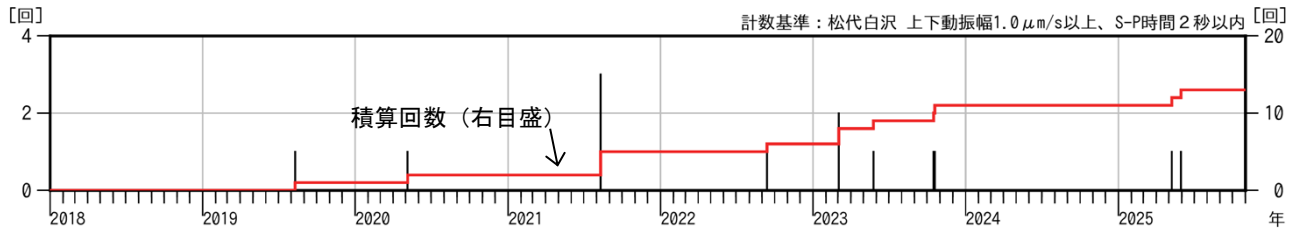


図7 岩木山 日別地震回数（2018年1月～2025年10月）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

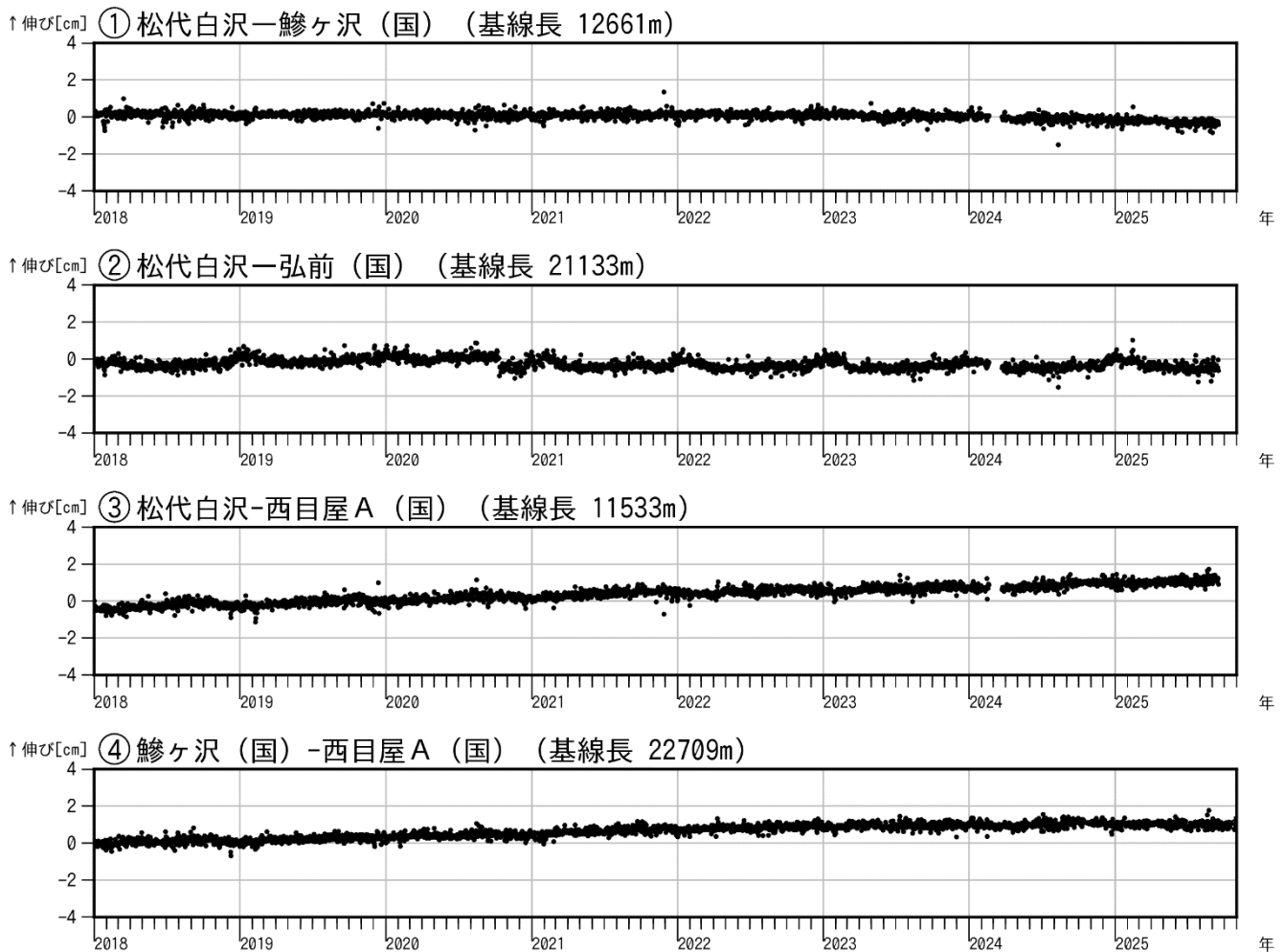


図8 岩木山 GNSS 基線長変化図（2018年1月～2025年10月）

- ・①～④は図10のGNSS基線①～④に対応しています。
- ・空白部分は欠測を示します。
- ・（国）は国土地理院の観測点を示します。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

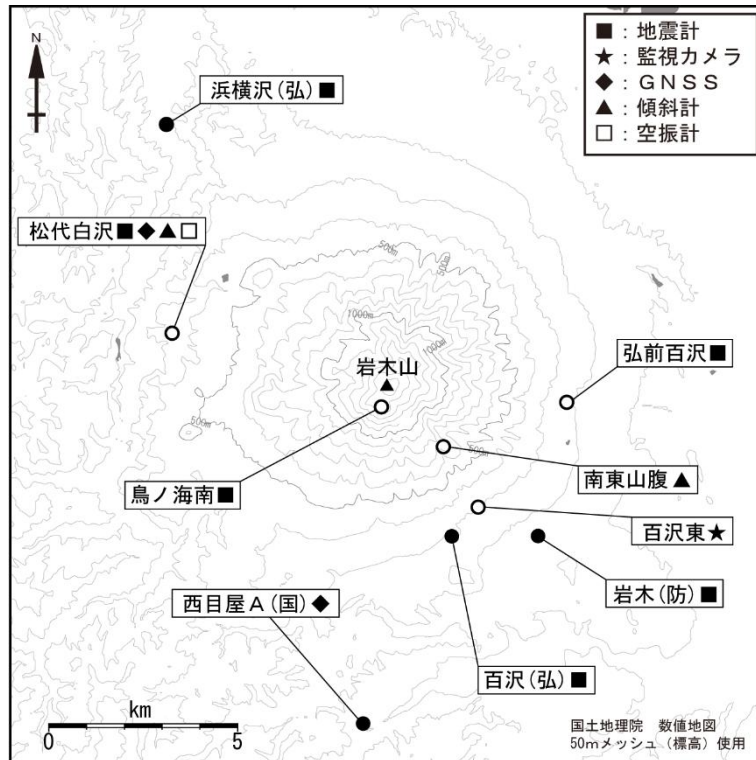


図9 岩木山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （弘）：弘前大学

（防）：防災科学技術研究所

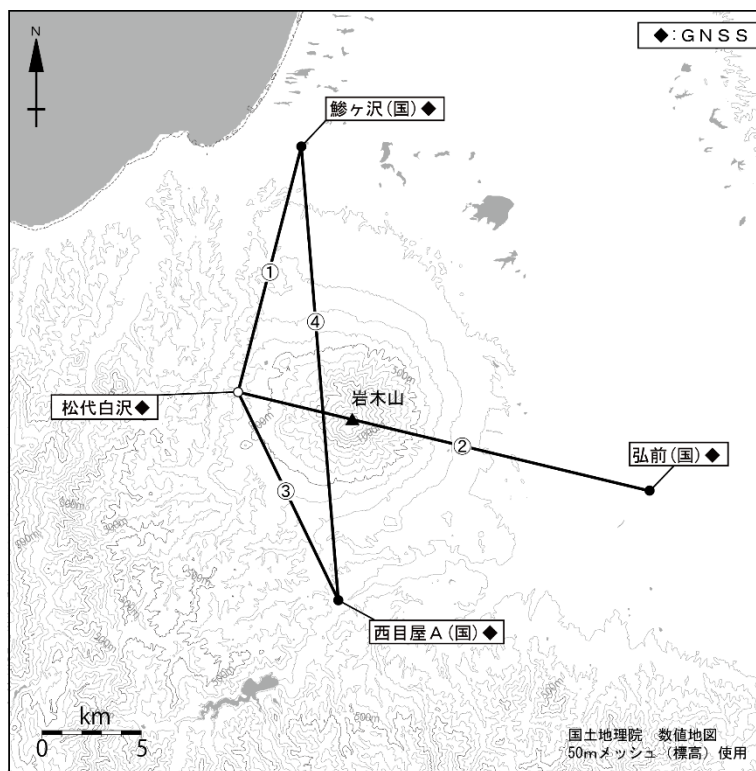


図10 岩木山 GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院